

● 10 月度木曜例会

10 月度木曜例会(10/10/07)(ユダヤ暦では 1 月 30 日 5771 年)

今回のゲストスピーカーはイスラエル国籍の Dalia さん。タイトルは The Land of Honey and Bombs です。お父さんがイスラエル人、お母さんがイラン人ということで現在の両国の関係から話の内容がどちらの方向に行ってしまうのか、まったく予想出来ませんでした。でも彼女はイランの首都テヘラン生まれですからパレスチナ寄りの内容かと思いきや、ユダヤ教と聞きある程度その先が推察できます。イスラエルに住む生の市民レベルの声、考え方、市民生活の実際の姿などを数多くのパーソナルな写真を使って説明してくれました。理解しやすいように最初に彼女のプロフィールから。



テヘラン生まれ、古美術商の両親と来日。神戸の国際学校カナディアンアカデミー、ニューヨークのファッション専門学校フレンチアカデミー卒業。1988 年に帰国後、NHK テレビ番組“シルクロードロマンの旅”のレポーター、ABC ラジオ“旅のハーモニー”のレポーターなどを務める。1997 年以降は主に警察署、検察庁、裁判所、入国管理局でペルシャ語の通訳。文化センター、大学高校など各地でペルシャ文化やイラン事情など講演。エッセイも連載。現在ホテル日航茨木でペルシャの伝統菓子“Dalia オリジナルデザート”を販売している。

● .



という彼女です。さて、話の内容ですが、まず祖父 Rahim さんから。Shah Pahlavi のイラン王国で王室美術顧問だった関係からイランの古美術を数多く収集、1979 年、ホメイニ率いるイラン革命時国王はアメリカに、時を同じくして Rahim さん一家も New York に移住、革命直前ペルシャ文化財を守る為にそれらのコレクションを New York に避難させた。日本の著名人とも交流が深く日本にペルシャ文化を紹介した先駆者の一人である。

そして母親 Pouri さん。イラニアンハープ Santur の奏者で講師でもある音楽家、音楽を通じて日本にイラン文化を紹介、積極的に演奏活動を続けている。そして 3 代目の Dalia さん、上記のような分野を通じ精力的に活躍。

● .

1) イスラエル市内

。銃を持って歩いている兵隊が多い。いたる所で見かける。

。空港はもちろんの事、ショッピングセンター、スーパーなどで自爆テロが起こらないために銃を持ったセキュリティガードが入口に立って、カバンをチェックしている。。女性兵士も多く、皆タフである。

フィリピンからの介護関係等ワーキングビザによる出稼ぎ労働者も多い。高サラリーだから。

ボディガードが学校、バス等いたるところに居る。



2) Jewish holidays or festivals

日本と同様お祭りが大好きな国民性、いずれも Jewish history のなかで重要な意味を持つものばかりである。

A) Yom Kippur ヨムキプール

最も重要で厳粛な一日、Its central theme is atonement and reconciliation. This is accomplished through prayer and complete fasting – including abstinence from all food and drink (including water). 車もバスも店も全てクローズ、道路は子供たちの天国となる。

B) ハネカ Hanukkah – Festival of Lights

クリスマス。それほど飾り付けずシンプルなライティング、キャンドルサービスが行われる。Jews の Torah を祝う行事。年越しドーナツを食べる。日本語虎の巻の語源は Torah。Jewish Temple は日本の神社に似ているところが沢山ある。例えば神社に入る前に手を洗って清めること、建物(神社と temple)の構図、神主さん(ユダヤ人祭司)が入れる場所は、一般人には立ち入り禁止等。

● .



C) 過越し祭り ペサハ Passover

ユダヤ人がエジプトでの奴隷から解放された脱エジプトを記して、毎年行なう祭り; 過越しの小羊、種なしパンを食べるのが特徴; 9月14日の前夜に始まり、8日間または7日間祝う

イスラエル人の神はエジプト人の家の長子を全て殺したが、あらかじめイスラエルの民には小羊の血を2本の柱と鴨居に塗るように命じ、その家の前を「通り過ぎ」(passover)、災害を及ぼさなかった。

D) 木の祭り New Year of the Trees

In modern times, it is celebrated by eating various fruits and nuts associated with the Land of Israel. Traditionally, trees are planted on

this day. Many children collect funds leading up to this day to plant trees in Israel.

その他シムハトーラ(トーラを読む喜び)、プリム(ハロウweenのように子供が仮装するお祭)、新年など数多くの行事、また割礼の儀式もある。特に9月~10月に集中するので秋の始まりには大忙しである。写真は9月(ユダヤ暦では新年なので1月)のカレンダー、マークされた日はお祭り。

● .

3) Political problems

A) コンクリート分離壁

B) ガザ

C) ハマス

D) ヨルダン西岸

E) イラン アハマディネジャド

ここからは彼女の見解です。

・分離壁は自爆テロ者がイスラエルに入って来れないように東地区に建設されている。

・イスラエルの一般ユダヤ人の出生率は2.9人、アラブ人では4.9人、アラブ人の人口増加、現在のガザの支配者、ハマスの方針として、アラブ原理主義者は子供にも銃の扱いを教育している。



・イスラエルは多民族民主主義国家なので、イスラエル国籍のアラブ人も、ユダヤ系イスラエル人と一緒に住んでいる。パレスティナにはアラブ人のみが生活している。

・年金、メディカルケアも充実しており、ヘブライとアラブ文字を平等に公用語として記載されている。

・エジプトからガザの国境にトンネルが掘られ、日用品とともに武器が流入している。武器の流入が国際問題になっている。

・イランはパレスチナを認めサポートしている。

・イスラエルでは信仰の自由が認められているのでモスクを破壊しない。ただし、アラブがモスクを武器庫として利用するときのみセキュリティの理由で破壊せざるを得ない事はある。

・自爆テロの犠牲者はイスラエル、アラブ両者を犠牲者に行している。ハマスはアラブ人も殺す。

・テルアビブには自爆テロ犠牲者の碑が沢山ある。

・ネタニヤフ再選により入植再開、皮肉な事に建設作業員は全てアラブ人。

イランとイスラエル、政府レベルの程度が違う。北朝鮮と日本のように。役者は代わっても歴史の舞台は果てしなく続いている。